

focus the KAKO

第75回鹿児島高等学校卒業式

3月1日(金)、正門の桜も蕾が膨らみ始める中、第75回鹿児島高等学校卒業式が挙行政され、普通科275名、英数科104名、情報ビジネス科132名、計511名の3年生が卒業を迎えました。

温かい拍手に包まれて各クラスが入場すると、吹奏楽部の「プロローグ・ワン」を皮切りに式が始まりました。入場後、各クラスの総代に卒業証書が授与されました。須田勝広校長は式辞として、「校歌にもある皆さんの花香る行く手には、様々なチャンスが待ち受けています。新しい挑戦に対して躊躇することなく、自分自身の人生を楽しんでください。大丈夫！君たちなら必ずできるはずですよ。」と言葉を贈りました。在校生を代表して三弧会会長の富永千遥さん(2EE1 出水中)が先輩方はいつまでも私たちの憧れです。これからも私たちにとって、輝き続ける存在でいてください。自ら選んだ道に自信を持ち、これからの輝かしい未来に向かっていかれる先輩方を心より応援しています。」とはなむけの言葉を贈り、卒業生を代表して富谷怜花さん(3F1 伊敷台中)が「この鹿児島高校で過ごした3年間で心の支えとし、『なりたい自分になる』ための意志ある一歩を踏み出すことをやめません。百周年という節目の年に生徒として鹿児島高校で過ごせた

こと、卒業を迎えることができたことを誇りに思います。」と答辞を述べました。最後に、高校生活最後となる校歌斉唱を終え、式は幕を下ろしました。

式後は各クラスにて最後のホームルームが行われ、担任から一人ひとりに卒業証書が渡されました。卒業生は3年間で振り返り、級友や恩師、保護者の方々へ感謝を述べ、別れを惜しみつつ未来への期待に輝かしい笑顔を浮かべていました。前途洋々たる道に進まれる卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。



focus the KAKO

令和5年度卒業生賞状授与式

2月29日(木)、本校体育館にて賞状授与式が挙行政されました。鹿児島県知事賞、鹿児島市長表彰、全国商業高等学校協会賞をはじめとする学業や部活動を讃える賞を、延べ226名3団体が受賞しました。在校生も1・2年後の自分たちの姿を想像しながら、今後の学校生活を充実したものにできるような励んでくれることと思います。来年度もまた多くの生徒の活躍を願っています。(卒業新聞に掲載した賞状授与者を2面に記載しています。)

focus the KAKO

クラスマッチ

3月7日(木)、8日(金)の2日間にわたってクラスマッチが行われました。どの競技も白熱した試合となり、皆さんが盛り上がることで嬉しかったです。今年度最後のクラスの良い思い出となっていれば幸いです。ご協力ありがとうございました。次に今回のクラスマッチの結果を掲載します。

種目	1年	2年
混合バドミントン	1位 1F3 2位 1J2 3位 1J4	1位 2J5 2位 2J1 3位 2F4
女子バレー	1位 1F9 2位 1F3 3位 1J3	1位 2J5 2位 2J4 3位 2J1
混合バレー	1位 1F6 2位 1J4 3位 1EE1	1位 2F5 2位 2F7 3位 2J2
男女オセロ	1位 1F7 2位 1F8 3位 1F1	1位 2J3 2位 2F4 3位 2F6
サッカー	1位 1F3 2位 1J2 3位 1EE1	1位 2F10 2位 2F1 3位 2J4
総合順位	1位 1F3 2位 1F6 3位 1J9	1位 2J5 2位 2F4 3位 2J1



賞状受賞者

令和5年度

今年度も多くの生徒の努力が認められ、素晴らしい実績を残しました。



全国商業高等学校協会賞

検定合格に向けての勉強では、今まで触れたことのない分野に1年生の頃は苦労しましたが、先生方に何度も質問したり友達と放課後に勉強することで、自信を持って検定を受けることができました。頑張ったことは必ず役に立つと信じて卒業後も検定勉強に励みたいと思います。

情報ビジネス科1組
牧迫 美紗(紫原中学校出身)



鹿児島市長表彰

私は勉強が苦手で消極的でしたが、二学期の三者面談で学業奨学生ランクの降格の可能性があると言われ、悔しさから本気で勉強に取り組みようになりました。今では苦手意識はすっかり消え、楽しさが分かるようになり、何事も楽しさを見つけて取り組む姿勢が大事だと感じました。

普通科1組
迫田 武蔵(天保山中学校出身)



鹿児島県知事賞

エンジニアになるという夢の実現に向けて最高水準の大学で学ぶために勉強に励みました。工学系の学部を目指して数学と物理の勉強に力を入れた結果、世の中の見方が変わり、精神的にも成長したと思います。学力だけでなく、人としての変化も感じられた、充実の3年間でした。

英数科特進コース1組
岩元 宏大(垂水中央中学校出身)



日本私立中学高等学校連合会賞

校外での活動にも積極的に取り組んだ高校生活では、地域の方など様々な方との出会いがあり、コミュニケーションを大切に活動することができました。2年の後期からは三弧会会長として全体をまとめたり、行事の運営や設営を行うなど、自分自身が大きく成長できた3年間でした。

普通科1組
富谷 怜花(伊敷台中学校出身)



岩崎賞

楽しい3年間を過ごせた高校生活の最後に岩崎賞という名誉ある賞をいただくことになり、とても驚いています。これも先生方を始め、家族や友だちの支えがあったこと。この賞に恥じぬよう精進を重ね、お世話になった方々に恩返しができるようこれからも、成長していきたいと思っています。

英数科英数コース3組
千 慈英(城西中学校出身)



三弧会賞(総代)

女子バスケットボール部で優勝するチームになるという強い気持ちで練習を頑張りました。経験を積むことで少しずつ成長することができ、2年生で数年ぶりの優勝、3年生の最後の試合では全国大会で1勝をすることができました。みんなでバスケに集中して取り組む毎日がとても楽しかったです。

情報ビジネス科4組
山下 陽色(緑丘中学校出身)



高文連芸術文化賞

小学校からチェロを続けているのですが、新型コロナウイルスの影響で思うように活動できない時期がありました。しかし、先生方が学校のイベントで演奏する機会を与えてくださり、それまで当たり前だと思っていた日々が大勢の方々の助けから成り立っていることを感じ、人間的に成長できました。

普通科8組
小宮 淳平(長田中学校出身)

受賞者一覧

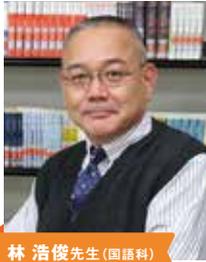
鹿児島県知事賞	岩元 宏大	英数科特進コース1組	垂水中央中学校
鹿児島市長表彰	迫田 武蔵	普通科1組	天保山中学校
全国商業高等学校協会賞	牧迫 美紗	情報ビジネス科1組	紫原中学校
	日高 鈴	普通科1組	中種子中学校
優等賞	古江 梨香子	普通科1組	伊敷中学校
	山下 心暖	普通科4組	城西中学校
	後藤 愛佳	普通科7組	紫原中学校
	山切 郷生	英数科特進コース1組	鹿児島修学館中学校
	豊廣 彩希	英数科英数コース1組	伊敷台中学校
	富岡 紅羽	英数科英数コース2組	面縄中学校
	石川 夢叶	情報ビジネス科1組	垂水中央中学校
日本私立中学高等学校連合会賞	宮下 美羽	情報ビジネス科3組	東郷学園義務教育学校
	富谷 怜花	普通科1組	伊敷台中学校
産業教育振興中央会賞	中村 美優	情報ビジネス科2組	星峯中学校
鹿児島県産業教育振興会賞	芝原 慧仁	情報ビジネス科4組	城西中学校
全国商業高等学校協会三種目以上1級合格者賞 [5種目]	中村 美優	情報ビジネス科2組	星峯中学校
	芝原 慧仁	情報ビジネス科4組	城西中学校
全国商業高等学校協会三種目以上1級合格者賞 [4種目]	石川 夢叶	情報ビジネス科1組	垂水中央中学校
	中山 和奏	情報ビジネス科1組	知覧中学校
	牧迫 美紗	情報ビジネス科1組	紫原中学校

全国商業高等学校協会三種目以上1級合格者賞 [3種目]	井ノ上 咲優	情報ビジネス科2組	鹿屋東中学校
	枇榔 美里	情報ビジネス科2組	伊敷台中学校
	宮下 美羽	情報ビジネス科3組	東郷学園義務教育学校
	福迫 萌衣	情報ビジネス科4組	武中学校
岩崎賞	和田 結夢	普通科8組	明和中学校
	千 慈英	英数科英数コース3組	城西中学校
高文連芸術文化賞(チェロ)	小宮 淳平	普通科8組	長田中学校
	陸上競技部・駅伝部(女子) ※団体		
三弧会特別功労賞	フェンシング部(女子) ※団体		
	軟式野球部 ※団体		
	石川 晴佳	駅伝部	西紫原中学校
	堀切 颯真	駅伝部	羽島中学校
	濱本 翔太	駅伝部	吉野東中学校
	田原 夕愛	陸上競技部	願娃中学校
	柳田 陽香	陸上競技部	城西中学校
	宮崎 珀弥	水泳部	鴨池中学校
	早崎 愛莉	水泳部	伊南中学校
	櫻木 大生	チェロ/校外活動	西陵中学校
三弧会賞	51名		

3月で離任される先生方にコメントをいただきました!

離任される先生から鹿高のみなさんへ

①鹿児島高校での在職年数 ②鹿児島高校での思い出 ③鹿高生へのメッセージ

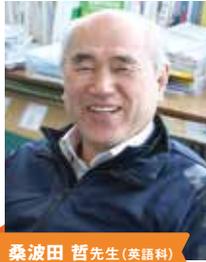


①26年

②感動やエネルギーをたくさんもらった生徒との毎日が思い出です。

③自分の夢や目標を叶えたいのなら、我慢する心を育ててください。

林 浩俊先生(国語科)



①20年

②剣道部で常と一緒に汗を流すこと、修学旅行や体育祭でのランニング、担任として苦戦したり生徒に励まされたり、懐かしい思い出です。

③自分の好きなことが見つければ、とことん追求自分の限界に挑戦してみよう。芸は身を助けることもあります。どこにいても鹿高生を応援しています。それぞれ自分のペースで頑張れ!

桑波田 哲先生(英語科)



①10年

②私の顔を見るとミトコンドリアの先生だと生徒が反応してくれたこと。大きな声であいさつしてくれた生徒の笑顔がとても印象的でした。

③昔から鹿高生には独特の気品がありました。言葉では説明しにくいけれど、気高さとか麗しとか。それを大切にしながら、また勉学に運動にさらに頑張ってください。

吉中 孝先生(理科)



①1年

②遠足や体育大会、鹿高祭、百周年…さまざまな行事も思い出ですが、「新館2階のトイレはきれい☆」と女子が知っているように3J1、2J1、2J2の女子生徒と先生方と一緒にトイレ掃除をしたことや日々の生活でみなさんとおしゃべりしたり、皆さんと触れ合えたことが一番楽しく幸せな思い出です。たくさん優しい言葉や元気をいただきました。ありがとうございました。

③自分の輝きは自分自身ではなかなか見ることができません。自分に自信を持って、自分のキラキラを輝かせて周囲を明るくしていくください。皆さんはきっと輝かせることができます☆皆さんのことを応援しています。ありがとうございました。

増田 ともえ先生(家庭科)



①5年

②体育祭で久々に走って足がつかろうになった事

③Boys be ambitious

池上 孝明先生(事務職員)



①2年

②2年間という短い期間でしたが少しでも生徒の皆さんと触れ合うことができ楽しかったです。ありがとうございました。

③夢見ることができればそれは実現できる。鹿高で叶えてください。

上田 健一先生(事務長)

部活動の活躍

バドミントン部

鹿児島県バドミントン総合選手権大会
[女子ダブルス] 社会人(小学生)
準優勝 永山彩央(2J1 城西中)
今村遙花(1F9 伊敷台中)

3位 今村遙花(1F9 伊敷台中)
能勢 優花(1F2 南中)

駅伝部

第30回鹿児島県高等学校
新人駅伝競走大会
2月6日

- 男子
- 準優勝 [1区]区間3位 中園 勲翔(2F6 国分中)
- [2区]区間3位 松久保貴也(2J1 重富中)
- [3区]区間7位 一村 昊輝(2J1 西紫原中)
- [4区]区間2位 久保 心人(1F2 谷山北中)
- [5区]区間3位 桑崎 竜宏(2EE1 甲南中)
- [6区]区間1位 馬場 隆輝(2F7 伊集院中)

- 女子
- 準優勝 [1区]区間4位 芝崎 葉音(2EE2 吉野東中)
- [2区]区間2位 神田 美咲(2F5 松元中)
- [3区]区間1位 上ノ原 小都理(2EE2 帖佐中)
- [4区]区間2位 平野 悠莉(2F7 松元中)

3月10日
阿久根市長旗九州選抜高等学校
駅伝競走大会

- 準優勝 [1区]区間4位 芝崎 葉音(2EE2 吉野東中)
- [2区]区間3位 上ノ原 小都理(2EE2 帖佐中)
- [3区]区間2位 神田 美咲(2F5 松元中)
- [4区]区間2位 中島 純音(1EE1 高尾野中)
- [5区]区間2位 平野 悠莉(2F7 松元中)

卓球部

2月11日
鹿児島県高校春季卓球大会
[女子学校対抗1部]
3位 本山紗彩(2J4 東谷山中)
本山礼紗(2J3 東谷山中)
寺園 穂乃佳(2J3 鴨池中)
白石小依(1F8 第一佐多中)
田中百愛(1J4 東谷山中)

演劇部

2月11日
第三十二回高等学校冬季大会
鹿児島県大会(演劇)
優秀賞

その他の活動

令和5年度
第62回ひな祭り書道展
南九州新聞社賞
小城美羽(1J3 明和中)
濱崎 真優(2F9 甲南中)
中間 百香(1F2 桜丘中)
播田 萌加(1ET1 吉野中)

令和5年度
第25回鹿児島県高校書道半紙展
優秀賞 ※最上位の賞
福元 悠真(1F1 武中)
田島 さくら(1F1 谷山北中)
本田 依子(1F3 鴨池中)
福田 仁(2F2 伊敷中)
入来院 麗(2F3 東谷山中)
南原 彩季(2F5 天保山中)
松園 七海(2F7 明和中)
濱崎 真優(2F9 甲南中)
山下 結衣(2EE2 皇徳寺中)
沼田 菜々(2ET1 重富中)

2月10日
第8回
高校生よかアイデアコンテスト
佳作賞 門松 琴音(3F2 鹿大附属中)
「これからの鹿児島を元気づけよう」
「鹿児島島の歴史と産業の融合」

2月25日
JDSF PD九州ダンススポーツ
競技大会 in 鹿児島
[JDSF C級戦ラテン]
3位 松井 萌華(1J3 紫原中)
[JDSF B級戦ラテン]
6位 松井 萌華(1J3 紫原中)

2月9日、10日
第二十二回全国津軽三味線大阪大会
[一般の部]
3位 濱川 愛奈(1F5 桜島中)

3月9日、10日
DANCE SUMMIT 2024
[ALL AGE]
優勝 竹穂 華(1F5 城西中)

検定

【実用英語技能検定】
準1級 梶原 エマエツラ(2ET1 清水中)
2級 山田 龍飛(2EE1 松元中)
山近 初葉(2EE2 喜入中)
浜田 空(2EE2 市来中)
山下 逢花(2EE2 川内北中)
中尾 烈旺(2F1 伊敷中)
中原 彩乃(2F1 吉野中)
松山 穂香(2F2 南中)
南原 彩季(2F5 天保山中)
後藤 菜穂(2F7 舞鶴中)
水口 稀容(2F8 武中)
竹之内 千慧(1ET1 福平中)
西村 咲希(1ET1 鹿大附属中)
阿久根 瑛希(1ET1 甲南中)
永田 晃大(1EE1 谷山中)
園田 昂(1EE2 東谷山中)
萩平 萌佳(1F1 吉野東中)
高岡 晃大(1F7 伊敷台中)





Scio(スキオー)の意味

知るを意味するラテン語。science(科学)の語源にあたるscientia(知識)は、Scioの派生語とされています。

進路選択という問い

①進路は、自分のことである

「自分の人生で何をなすべきか」を毎日寝る前に考えていますか？自分の高校時代を振り返ると、残念ながら私自身はそこまで深く考える高校生ではありませんでした。しかし、「今何をすべきなのか？」という問いには悩まされました。悩んだ私から皆さんに、一つ提案があります。「今何をすべきなのか？」の前に、「自分は、どのような人でありたいか」を考えてみてください。

考えましたか？次は、自転車思い浮かべてください。前輪と後輪がありますね。その自転車の前輪が「何をすべきか」、後輪が「どのような人でありたいか」です。ご存じのように、自転車は後輪が動きますので、前輪の「やるべきこと」ばかりでは進むことができません。後輪の「どのような人でありたいか」という部分は、進路を考える上でも大切なことなのです。しかし、そればかりでは前輪のない自転車になつてしまうため「何をすべきか」が次に大切になってくるわけです。

もう一度「どのような人でありたいか」を自分に問いかけ

てみてください。私は、そのなかに「嘘をつかない(誠実である)」は入れてほしいと思っています。嘘つきの周りには嘘つきが寄ってきますし、嘘というの人は人を傷つけます。今後の人生を嘘つきに囲まれて過ごしたいですか？ということですね。よろしくお願ひします。

②今後のスケジュールを把握

本稿の対象は主に私大の推薦・総合型選抜入試を受験する(目指す)生徒に対するの確認です。この入試は高校3年次の10月~11月の間に行われます。となると、出願は9月です。志望理由書などの書類作成は夏休み中の8月に開始すべきということになります。では志望校決定はいつになりますか？そう、高校3年次の7月末が「最終決定」です。と、いうことは「3年夏のオープンキャンパスに行つてから決めよう」では間に合わない可能性があります。

では、受験校を7月末の最終決定前にバタバタ決めたとしましょう。本当に後悔しない決定ができると思えますか？この後に悩んでも手遅れになる場合があります。出願準備期間になりますからね。そこで、君たちに提案したいのは、高校3年4月の三者面談で志望校を仮確定することです。この、4月から7月の間が「本当にこの学校を受験するか」悩む期間です。この期間であれば変更もできます。

最後に、現1年生へ。高校3年の4月に志望校を決定するために、2年生の間でやっておかなければならないことはたった一つ。オープンキャンパスへの参加です。高校生になると、各自(個人)で申し込む形式になっていることに注意してください。興味のある学校のHPをよく読み、オープンキャンパスには、時間を見つけて積極的に参加するようにしましょう。

進学指導室・米澤耕一郎

学びのヒント

『勉強は何のためにするのか』

商業科・宇都翔太

勉強をする意味、考えたことがあるでしょうか。因数分解・古文漢文・将来普通生活していく中で使うことはほとんどないと思います。ではなぜ勉強するのでしょうか。学歴のため、良い大学や企業に入るため、親が勉強しなさいと言うから、勉強をやっているというより、とりあえずやらされている人が多いのではないのでしょうか。

私の私見ですが、勉強は自分の選択肢を広げるためにするものだと思います。進学先や就職先の選択肢が増えるといった物理的なことはもちろんですが、人生において選択を迫られた時、困った時に、多くの引き出しがあれば自身の助けになります。そのために今学ばべきなのではないかと思えます。直接的に連立方程式を使う機会はなくとも、過程から答えに結びついたという経験が一つ引き出しに追加されます。世界史や地学、いつかそういう話題が好きな面接官や上司に出逢うかもしれません。知識は武器です。

話は変わりますが、最近新聞を読む人が減っています。中高生はもちろん、大人でも若い人たちはほとんど新聞を読まません。先生たちでも読んでない人がいるくらいです。私は大学時代も一人暮らしでお金がなくても、新聞だけは定期購読していました。毎日新聞を読むことが習慣であり楽しみでありました。それは今でも変わっており、毎朝、南日本新聞を欠かさず読んでから出勤しています。文科省が毎年行っている学習定着調査では、新聞を読む習慣がある児童生徒は学力が高いというデータが出ており、何年も前から新聞教育が推奨されています。もちろん新聞イコール学力ではないと思いますが、例として中学3年生の国語数学等の調査で、新聞を毎日読む生徒と、ほとんど読まない生徒では正答率に10%前後の差があったそうです。先日、知り合いの先生からこんな話を聞きました。以前宮崎県のある学校で高校3年の12月に全国高校駅伝に出場した選手が、その後の大学入試で東大に現役合格しました。まさに文武両道ですね。その選手は毎日5社の新聞を読んでいたそうで、新聞を読むことが幼い頃からの楽しみだったそうです。インターネットやSNSの普及とともに新聞の購読者は減る一方ですが、企業の社長や管理職、成功している人は必ずといっていいほど新聞を読んでいます。インターネットにもニュースが流れていますが、自分の興味のあるものしか見ようとならないのが普通であり、中には不確定な情報が含まれるものもあります。対して新聞は幅広い分野から様々な知識を得ることが出来ます。私も毎朝、スポーツ欄や地域欄を見て、どんなに小さい文字でも鹿児島高校のすべての部活の成績や取り組みをチェックし生徒に話しかけるようにしています。様々な分野の知識があること、今世の中で何が起きているか知ること、知識は大きな武器になります。ぜひみなさん新聞を毎日読んでみましょう。

さて最後に、勉強とはやらされるものではなく、自らやらなければ何の意味もないものだということを言っておきます。学ぼうと思えばいつでも、どこでも、なからでも学ぶことができます。将来の可能性を広げるには高校時代の今が大切です。自分の可能性を広げることができるのは自分だけです。

